えんちょう先生の わくわくだより

NO．27

新しい年を迎えて、早一ヶ月が終わってしまいました。今年の岩村は、雪も少なく自分の子どもの頃を思うと想像できない冬です。屋根からはつららが長く伸び、それを棒で叩き落す度に「カン！」と響く音、長靴の中に入る雪を払いながら登校したものです。夜は、雪掃きの大人たちがあちこちで、「かなわんね」と声を掛け合い竹ぼうきを手早に動かし続け、その周りでは、大勢のこども達が、雪を投げたり、そりを持ち出して引き回したりと、大賑わいの雪の夜だったものです。地球の温暖化か、自然もどんどん変わり、群れて遊んだこども達も今は見られないのが普通になってきたけれど、そんな昔の知恵や気持のつながりの大切さは、小さいこども達に残していかなくてはと思うこの頃です。文科省は、１／２３日、国のいじめ防止方針の改定案を公表しました。そこに加わった中に、「幼児が他の幼児を尊重する気持を持って行動出来る様、取り組みをうながす」と言う項目があります。幼児期の心の育ちの大事さがわかりますね。集団生活の中で、自分を大事にしながら周りの人への関心や気持を大切にするこどもを育てる為には、どんな取り組みが必要か？言葉で「やさしくなってね」と何百回言っても、人はやさしくなれるものではありません。やさしくするとはこんな事か？と感じる場面を生活の中で、何回も何回も経験していく事。自分も痛んだ気持にやさしい言葉を掛けられたり、困っている子を助けたら自分も嬉しかったと言う様な経験・・・・何事も言葉や、文章化する事は、簡単ですが、その取り組みには、手間と時間と人間関係を見抜く力が必要です。私達職員も更に勉強をしていきたいと思っています。

１月の誕生会には　ちあき先生の インフルエンザにかかって・・の体験を聞いたよ

先生は、インフルエンザの注射を打っていたのに、この冬、インフルエンザにかかってしまいました。土．日に病院に行けず、月曜日に行った時には、もうインフルエンザの薬が効く時を過ぎてしまって、自分の力で治さないといけない事になっちゃったんです。自分で治すには、先生の体の中に菌と戦う力がないと治らないと思って、どんな物を食べたらいいのかと勉強をしたよ。

そこで知ったことは（実際に野菜や果物をみせながら・・）

ねぎ・・ねぎは汗を出しやすく熱を下げる手助けをしてくれるんだって

いちご・・いちごのビタミンＣは、菌と戦う力を強くしてくれます

タマネギ・・血をさらさらにするタマネギは、頭痛を和らげてくれるよ

ブロッコリー・・鼻水にいいそうです　これもビタミンＣが多く菌と戦う力をつけてくれます

◆そこで、クイズ！風邪を引いた時にはどちらをたべるといい？手を上げてね。

から揚げと大根？・正解は大根。大根は弱ったおなかの消化を助けてくれます。油っこい物はあまりよくないね。（こども達はから揚げに手を上げた子が多かったです）

お茶とジュース？・正解はお茶。お茶にはカテキンと言って菌をやっつけてくれる栄養がある

うまい！

「勝て菌！だよ」と両腕を曲げ、がっつポーズを見せてくれたちあき先だったね。

みんなも、丈夫な体を作るには、好き嫌いを言わずに何でも食べて、外で元気に遊んで、早寝早起きが大事だね。・・・と。

この日の昼食に大根が入っていると、「さっき、ちあきせんせいが話していたね」と、こども達の話題になったと教えてくれた先生もいました。

♥手遊び

こんな暖かい春が早く来るといいねと話しながら、こども達と楽しんだ手遊びです。

しもばしらーがたおれた
しもばしらーがたおれた
おひさま　わーらって～
ちょうちょが　おどりだす

おにはそと
ふくはうち
ぱらぱらぱらぱらと
まめのおと～
おにはこっそり
にげていく

節分の行事に向けて、園バスの運転手の柴田さんが、沢山の「あせび」を持って来て下さいました。職員が持ってきた柊と一緒に職員室前で鬼の来る日を待っています。自分達でもあせびの木がどんな所にあるのか知りたいと、年中．年長さんは、園外に出掛け、みんな手に一枝づつ握って帰ってきました。昔から伝わる節分の行事を２月２日．３日の二日間で楽しみたいと思います。　**さあ、鬼よこい！　来てみろ　鬼！**

こどもは風の子 どんどんあそべ！